

泌尿器科、東京女子医科大学病院、北海道がんセンターに通院中の患者さん
またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

腎盂尿管癌に対する根治的腎尿管全摘除術後の再発部位に関する所属リンパ節郭清実施の有無・アプローチ（腹腔鏡もしくは開腹）の差違が与える影響～後ろ向き比較研究～

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 安部 崇重（泌尿器科・講師）

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 北海道大学病院 泌尿器科・講師 安部 崇重

[共同研究機関名・研究責任者名]

東京女子医科大学病院/東京女子医科大学東医療センター 泌尿器科 近藤 恒徳

東京女子医科大学病院 泌尿器科 飯塚 淳平

北海道がんセンター 泌尿器科 原林 透

[研究の目的]

腎盂尿管癌の再発部位に関する所属リンパ節郭清の治療的意義とアプローチ（腹腔鏡もしくは開腹）の差異が与える影響を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2000 年 4 月から 2015 年 12 月の間に、腎盂尿管癌に対して根治目的に手術が実施された患者さんを対象とします

○利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、既往歴、手術日、治療内容、画像検査所見（CT、MRI 画像）、病理結果、周術期情報、術後再発に関する情報、追加治療内容、転帰

この研究は、当院と上記の共同研究機関で実施します。上記のカルテ情報は、腎盂尿管癌の再発部位に関する所属リンパ節郭清の治療的意義とアプローチ（腹腔鏡もしくは

は開腹)の差異が与える影響の調査のために北海道大学病院泌尿器科に電子的配信で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2019年7月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院泌尿器科 担当医師 安部 崇重

電話 011-716-1161 (内線 5949) FAX 011-706-7853